

2008年3月19日

(社)日本地理学会 地理教育専門委員会

## 大学生・高校生の地理的認識の調査報告

### 高校生調査

宮崎県はどこ？半数以上の高校生が答えられない。

宮崎県の位置は 57.3%、日本の食糧自給率は 64.7%が不正解！

### 大学生調査

高校における地理履修者と未履修者との世界に対する認識  
の差は明瞭

イラクでは 11.5 ポイント、スイスでは 15.1 ポイントにも！

—国際社会に生きる日本人として必要不可欠な地理教育の充実を—

## 【日本地理学会からの提言】

### 一 国際社会に生きる日本人として必要不可欠な地理教育の充実を一

1、小中高校を通じて、地図・地理教育の充実を図り、社会に関心を持つ国民の育成を図ること。

地名や国名の認知は、単なる暗記を求めているではありません。その場所を地図上できちんと把握しているということは、そのことに関心を持っていることを示しています。広く現代世界と日本の諸事象に関心を持つことは、これからの社会に生きる子どもたちにとって不可欠な素養であると考えます。とくに、高校においては地理の履修が適切に行われるよう広く学校関係者に強く要望します。

2、地理を専門とする教員の確保と教員の研修機会の充実に努めること。

地図・地理教育の充実のためには、教員の確保と資質の向上が不可欠です。高校や中学校においては、地理を専門とする教員を各校最低一人配置することを求めます。小学校においても、社会や地理の専門の教員を置くことを求めます。

また、学校教育の根幹は授業にあるという原則に立ち返り、授業充実のための多様な研修機会の活用と参加（例えば、学会（学術登録団体）の開催する研究会等への参加を促すなど）のシステム構築が必要です。学校法人や教育委員会の関係者には先生方がよりよい教材研究ができるような環境整備が行われるよう要望します。

3、学校教育で活用可能な地理情報の積極的な提供に努めること。

第166国会で地理空間情報活用推進基本法が成立しました。地理空間情報の活用推進に関しては、学校教育とくに地理教育の果たす役割は大きいと考えます。地理教育では、食糧問題やエネルギー問題、環境問題、人口問題など地域に関する多様な内容を扱います。これらの教育内容を充実させるためには、地域に関する情報が、教育の場で広く活用できる形で提供されることが必要です。関係諸機関の協力が不可欠です。

## 【調査の目的】

本調査は、2005年に本委員会が行った世界認識調査の続編です。前回の調査はマスコミでもしばしば取り上げられ、話題になりましたが、その後状況は改善されたでしょうか。調査は、継続性が重要であるという観点からほぼ同様の内容（国の位置に関する質問）とし、これに加えて、都道府県の位置についても質問をしました。

また、高校生を対象にした調査では、食糧・エネルギー・環境についての設問を加え、地理的認識を総合的に検討することを目的としました。高校進学率が95%を超える現状では、国民の一般的教養をはかるには高校生の調査が重要であると考えられるからです。

## 【調査の実施概要】

調査対象：高校生 東京都内の37校を含め全国51校(6159人)

地理教育専門委員が地理担当教員を中心に依頼しました。前回調査では対象校が進学校に偏っていましたが、今回はそうした偏りがないように配慮しました。

大学生 全国の31大学(3747人)

前回調査実施校を中心に各大学の地理学担当教員等に依頼しました。

調査日時：2007年12月から2008年2月の期間で、担当教員が適宜設定しました。

方 法：アンケート票に回答する方法で行いました。

調査項目： <高校生>

- 1 地理の履修の有無
- 2 10カ国の位置を世界地図上に記した番号から選択。
- 3 10都県の位置を日本地図上に記した番号から選択。
- 4 北方領土問題の相手国を解答。  
食料自給率を語群から選択。  
原油の輸入先を語群から選択。
- 5 一日の最も早くはじまる国を地図中から選択。  
エルニーニョの発生海域を地図中から選択。

： <大学生>

- 1 高校時代の地理の履修の有無。
- 2 10カ国の位置を世界地図上に記した番号から選択。
- 3 10都県の位置を日本地図上に記した番号から選択。

★ 本調査の詳細については、2008年3月29日（土）獨協大学で開催される日本地理学会春季学術大会において発表されます。

## 【調査結果の概要】

### <高校生調査>

#### 1、空間認知は苦手。

高校生は大学生より国、都県の認知はいずれも低い状況にあります。国の認知では、イラクは25.6%、ベトナム38.8%というように大学生の半分程度です。都県の位置では、東国原知事の就任で話題を集める宮崎県の認知は42.7%と半数に達していません。情報を地図上で整理して、空間的に位置づけることは苦手ようです。

#### 2、食料問題、環境問題への関心は不十分。

現在、食の問題が話題になっていますが、日本の食料自給率の正答率は36.3%ときわめて低い状況です。数値自体は、時代とともに変化するものですが、現状をきちんと把握することは、必要不可欠な素養であると考えます。また、エルニーニョの発生海域の正答率は37.0%、原油の輸入先も53.2%です。一方、北方領土の正答率は80%です。これについては、小学校以来の社会科教育の中で繰り返し扱われています。必要な内容は、繰り返し扱うことが重要であるということが出来ます。

#### 3、地理履修者は世界の諸問題に対する認知は高い。

地理履修者と未履修者の混在する高校の分析によれば、国の認知ではアメリカ・インド・ブラジルを除く各国について、地理的基本事項に対する設問では、原油の輸入先、エルニーニョの発生海域、時差について地理履修者の正答率が有意に高いことがわかりました。なお、中学校で日本を中心とした学習をするためか都県の認知では有意な差はありませんでした。

### <大学生調査>

#### 1、前回調査より国の認知度は低下。

今回調査の10か国中、8か国は先回と同じ国を質問していますが、いずれも正答率は低下しています。例えば、イラクは、56.5%から50.2%、ベトナムは73.6%から67.0%、フランスは87.8%から84.9%へと低下しています。

#### 2、地理履修者は国の認知度が高い。

今回の調査では、地理履修者は、すべての国の位置の認知で地理未履修者を上回りました。地理履修者と未履修者の差は、スイスでは15.1ポイント、ケニアでは14.4ポイント、フィンランドでは12.8ポイントにもなります。

#### 3、地理履修者は都県の認知度も高い。

高校生の調査では、有意な差がみられなかった都県の位置についても、大学生では地理履修者と未履修者とでその認知に差がみられます。高校における地理の履修の継続によって、場所をキーにする情報の整理能力が増した結果であると考えられます。

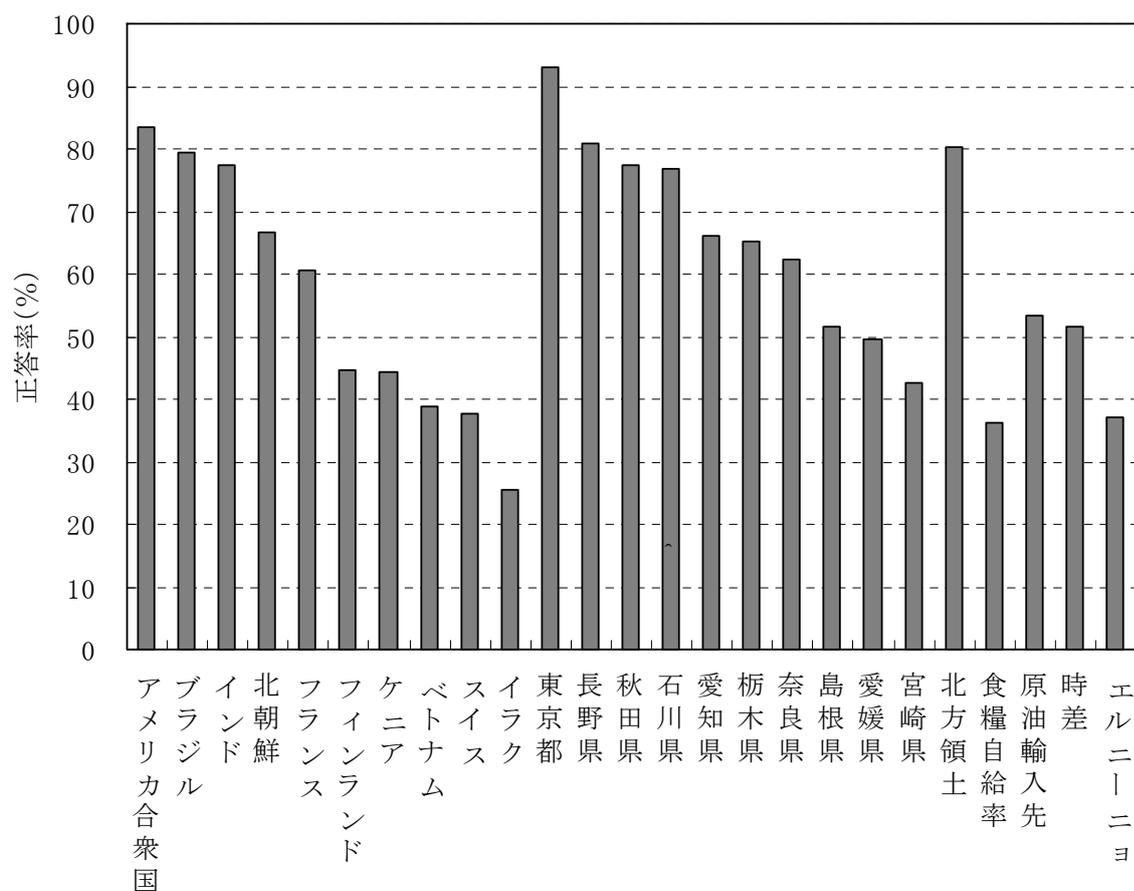
# 地理認識調査集計結果

## 1. 高校生調査

### (1) 地域別調査対象高校数・回答生徒数

	高校数	回答生徒数(人)
北海道	1	50
茨城県	1	40
埼玉県	1	213
千葉県	7	982
東京都	37	4,398
京都府	1	119
兵庫県	3	357
計	51	6,159

### (2) 設問別正答率

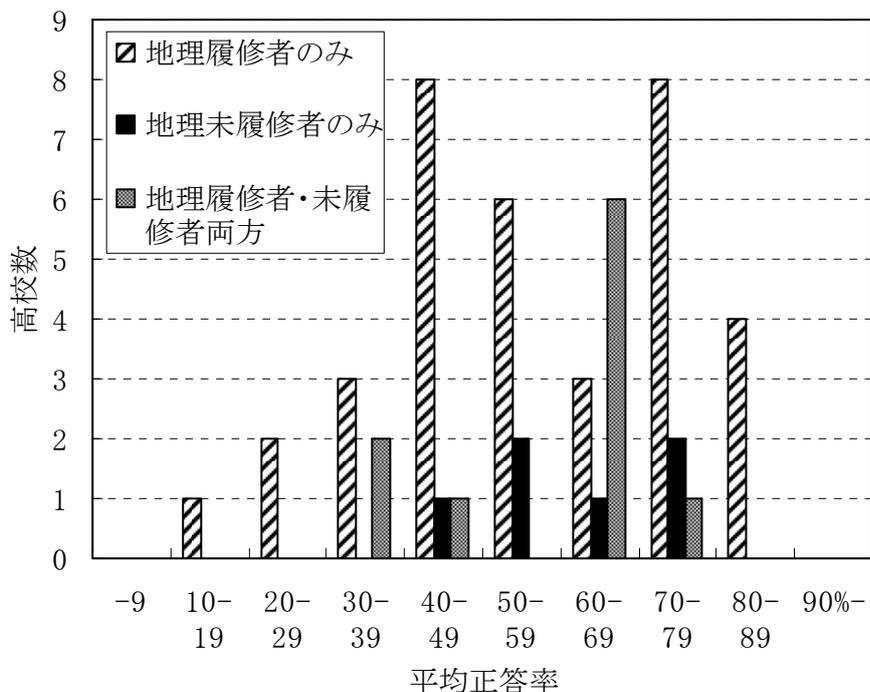


		正答率 (%)	実数(人)		
			正答者数	誤答者数	計
国	a アメリカ合衆国	83.6	5,146	1,013	6,159
	i ブラジル	79.3	4,886	1,273	6,159
	c インド	77.4	4,766	1,393	6,159
	g 北朝鮮	66.6	4,099	2,060	6,159
	h フランス	60.4	3,723	2,436	6,159
	d フィンランド	44.7	2,755	3,404	6,159
	f ケニア	44.4	2,736	3,423	6,159
	j ベトナム	38.8	2,388	3,771	6,159
	e スイス	37.6	2,314	3,845	6,159
	b イラク	25.6	1,576	4,583	6,159
都 県	c 東京都	93.0	5,725	434	6,159
	d 長野県	80.8	4,979	1,180	6,159
	a 秋田県	77.3	4,762	1,397	6,159
	f 石川県	76.8	4,729	1,430	6,159
	e 愛知県	66.1	4,072	2,087	6,159
	b 栃木県	65.2	4,013	2,146	6,159
	g 奈良県	62.5	3,847	2,312	6,159
	h 島根県	51.5	3,170	2,989	6,159
	i 愛媛県	49.6	3,052	3,107	6,159
	j 宮崎県	42.7	2,629	3,530	6,159
地理的 知識	① 北方領土	80.4	4,949	1,210	6,159
	② 食糧自給率	36.3	2,233	3,926	6,159
	③ 原油輸入先	53.2	3,276	2,883	6,159
地図問題	① 時差	51.6	3,179	2,980	6,159
	② エルニーニョ	37.0	2,278	3,881	6,159

### (3) 地理履修者と未履修者の比較

#### a. 高校ごとの平均正答率の分布

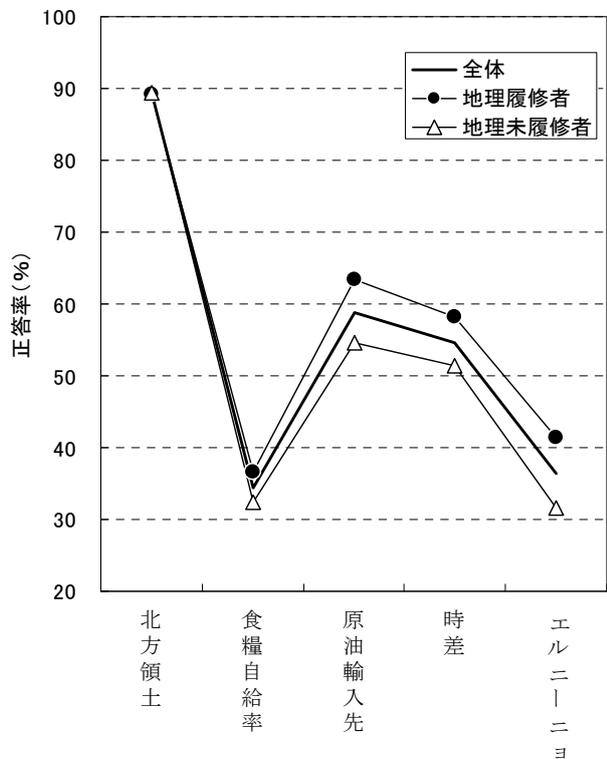
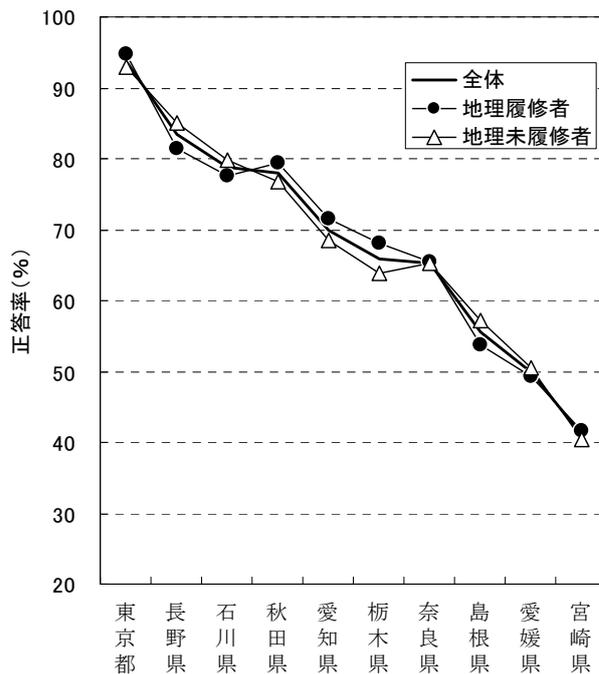
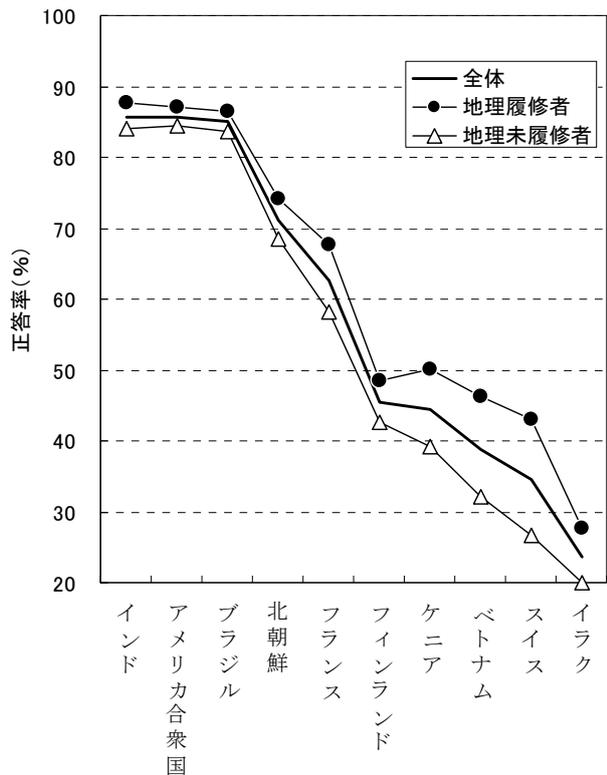
調査対象 51 高校のうち、地理履修者のみから回答があった高校は 35 校、地理未履修者のみから回答があった高校は 6 校、地理履修者・未履修者両方から回答があった高校は 10 校である。それぞれの高校について、25 問の平均正答率の度数分布を示したものが次のグラフである。



このグラフから、地理履修者のみから回答があった高校と、地理未履修者のみから回答のあった高校では、前者の方が平均正答率の低い高校が目立っている。このことは、両カテゴリーのサンプルにおいて学力の偏りがあることを示しており、全回答者を単純に地理履修者と未履修者に分けて比較することはできない。

そのため、地理履修者と未履修者を比較する際には、高校内において地理履修者・未履修者両方から回答があった高校 10 校の生徒 1,366 人を対象とした。

b.地理履修者と未履修者との比較



分析対象は、高校内において地理履修者・未履修者両方から回答があった 10 高校の生徒 1,366 人。

		正答率			
		全体 (%)	地理履修者 (%)	未履修者 (%)	差 (ポイント)
国	c インド	85.7	87.6	84.0	3.6
	a アメリカ合衆国	85.7	87.0	84.4	2.6
	i ブラジル	85.0	86.5	83.6	3.0
	g 北朝鮮	71.2	74.2	68.4	5.8 *
	h フランス	62.7	67.6	58.1	9.4 **
	d フィンランド	45.5	48.5	42.7	5.8 *
	f ケニア	44.4	50.2	39.2	11.0 **
	j ベトナム	38.9	46.2	32.2	14.0 **
	e スイス	34.6	43.1	26.7	16.4 **
	b イラク	23.7	27.7	20.1	7.6 **
都県	c 東京都	93.7	94.6	92.8	1.8
	d 長野県	83.4	81.5	85.1	-3.6
	f 石川県	78.7	77.5	79.8	-2.3
	a 秋田県	78.0	79.4	76.7	2.7
	e 愛知県	70.0	71.6	68.5	3.0
	b 栃木県	65.9	68.0	63.9	4.1
	g 奈良県	65.3	65.4	65.2	0.3
	h 島根県	55.5	53.7	57.2	-3.5
	i 愛媛県	49.9	49.4	50.4	-1.0
	j 宮崎県	41.0	41.6	40.4	1.1
地理的知識	① 北方領土	89.4	89.3	89.5	-0.2
	② 食糧自給率	34.5	36.7	32.4	4.3
	③ 原油輸入先	58.8	63.3	54.6	8.7 **
地図問題	① 時差	54.7	58.3	51.4	6.9 *
	② エルニーニョ	36.3	41.4	31.6	9.8 **

\*\* 履修 未履修 / 正答 誤答の2×2分割表における $\chi^2$ 乗検定の結果、1%水準で有意  
\* 5%水準で有意

		正答者数 (人)		
		全体 (n=1,366)	地理履修者 (n=654)	未履修者 (n=712)
国	c インド	1,171	573	598
	a アメリカ合衆国	1,170	569	601
	i ブラジル	1,161	566	595
	g 北朝鮮	972	485	487
	h フランス	856	442	414
	d フィンランド	621	317	304
	f ケニア	607	328	279
	j ベトナム	531	302	229
	e スイス	472	282	190
	b イラク	324	181	143
都県	c 東京都	1,280	619	661
	d 長野県	1,139	533	606
	f 石川県	1,075	507	568
	a 秋田県	1,065	519	546
	e 愛知県	956	468	488
	b 栃木県	900	445	455
	g 奈良県	892	428	464
	h 島根県	758	351	407
	i 愛媛県	682	323	359
	j 宮崎県	560	272	288
地理的知識	① 北方領土	1,221	584	637
	② 食糧自給率	471	240	231
	③ 原油輸入先	803	414	389
地図問題	① 時差	747	381	366
	② エルニーニョ	496	271	225

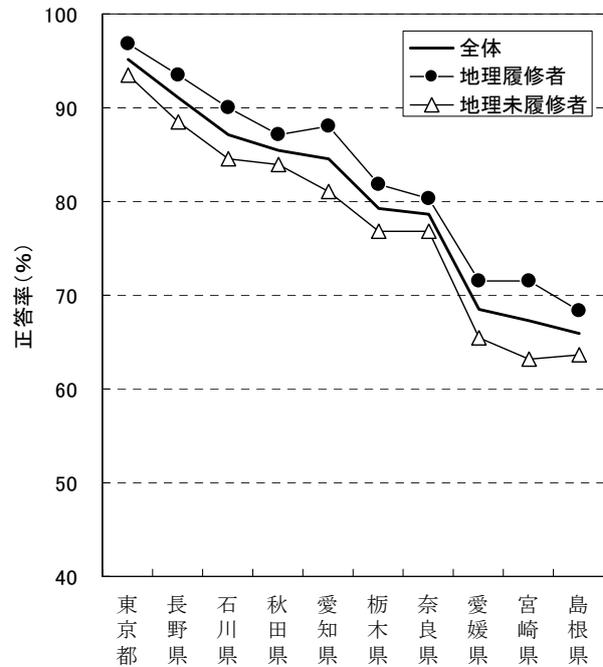
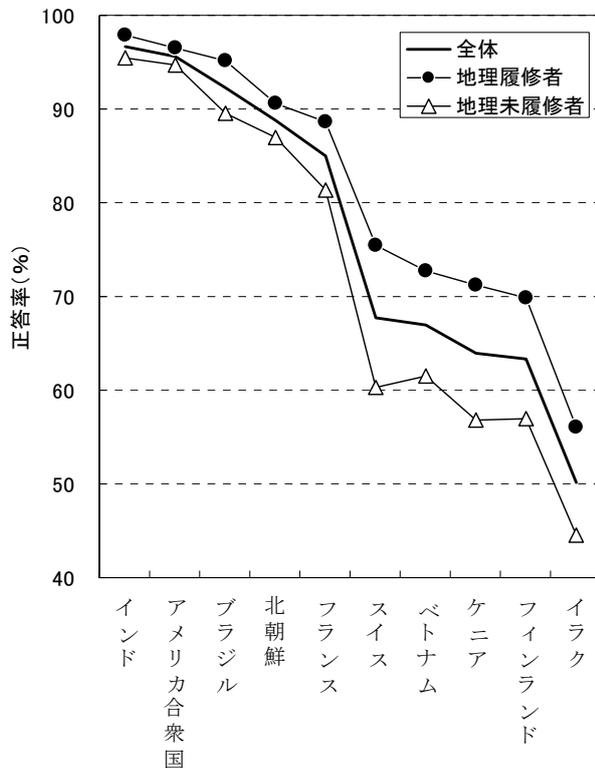
## 2. 大学生調査

### (1) 調査対象大学

北海道教育大学、弘前大学、岩手大学、東北学院大学、東北大学、常磐大学、茨城大学、筑波大学、高崎経済大学、埼玉大学、獨協大学、立正大学、千葉大学、慶應義塾大学、専修大学、帝京大学、日本大学、早稲田大学、駒澤大学、東京大学、東京学芸大学、法政大学、信州大学、愛知学院大学、滋賀大学、京都大学、立命館大学、岡山大学、鳥取大学、福岡教育大学、沖縄国際大学

以上 31 大学 3,747 人(うち高校時の地理履修者 1,843 人、未履修者 1,904 人)

### (2) 設問別正答率および高校時の地理履修者と未履修者との比較



		正答率(%)				前回調査正答率(参考)			
		全体(%)	地理履修者(%)	未履修者(%)	差(ポイント)	全体(%)	地理履修者(%)	未履修者(%)	差(ポイント)
国	c インド	96.7	97.9	95.5	2.4 **	96.8	97.6	96.0	1.6
	a アメリカ合衆国	95.6	96.5	94.7	1.8 **	96.9	97.2	96.6	0.6
	i ブラジル	92.3	95.2	89.5	5.6 **	92.8	95.2	90.5	4.8
	g 北朝鮮	88.7	90.6	86.9	3.7 **	90.3	90.6	90.0	0.5
	h フランス	84.9	88.7	81.4	7.3 **	87.8	90.6	85.1	5.5
	e スイス	67.8	75.4	60.3	15.1 **	-	-	-	-
	j ベトナム	67.0	72.7	61.4	11.3 **	73.6	79.5	67.8	11.7
	f ケニア	63.9	71.2	56.8	14.4 **	66.3	73.2	59.5	13.7
	d フィンランド	63.3	69.8	57.0	12.8 **	-	-	-	-
	b イラク	50.2	56.0	44.5	11.5 **	56.5	61.0	52.0	9.0
	都県	c 東京都	95.1	96.9	93.4	3.4 **	/		
d 長野県		91.0	93.5	88.6	5.0 **				
f 石川県		87.2	90.0	84.5	5.5 **				
a 秋田県		85.5	87.1	83.9	3.2 **				
e 愛知県		84.5	88.1	81.1	7.0 **				
b 栃木県		79.3	81.8	76.8	5.0 **				
g 奈良県		78.6	80.3	76.9	3.4 *				
i 愛媛県		68.5	71.6	65.5	6.1 **				
j 宮崎県		67.3	71.5	63.2	8.3 **				
h 島根県		65.9	68.3	63.6	4.7 **				

\*\* 履修・未履修/正答・誤答の2×2分割表における $\chi^2$ 乗検定の結果、1%水準で有意

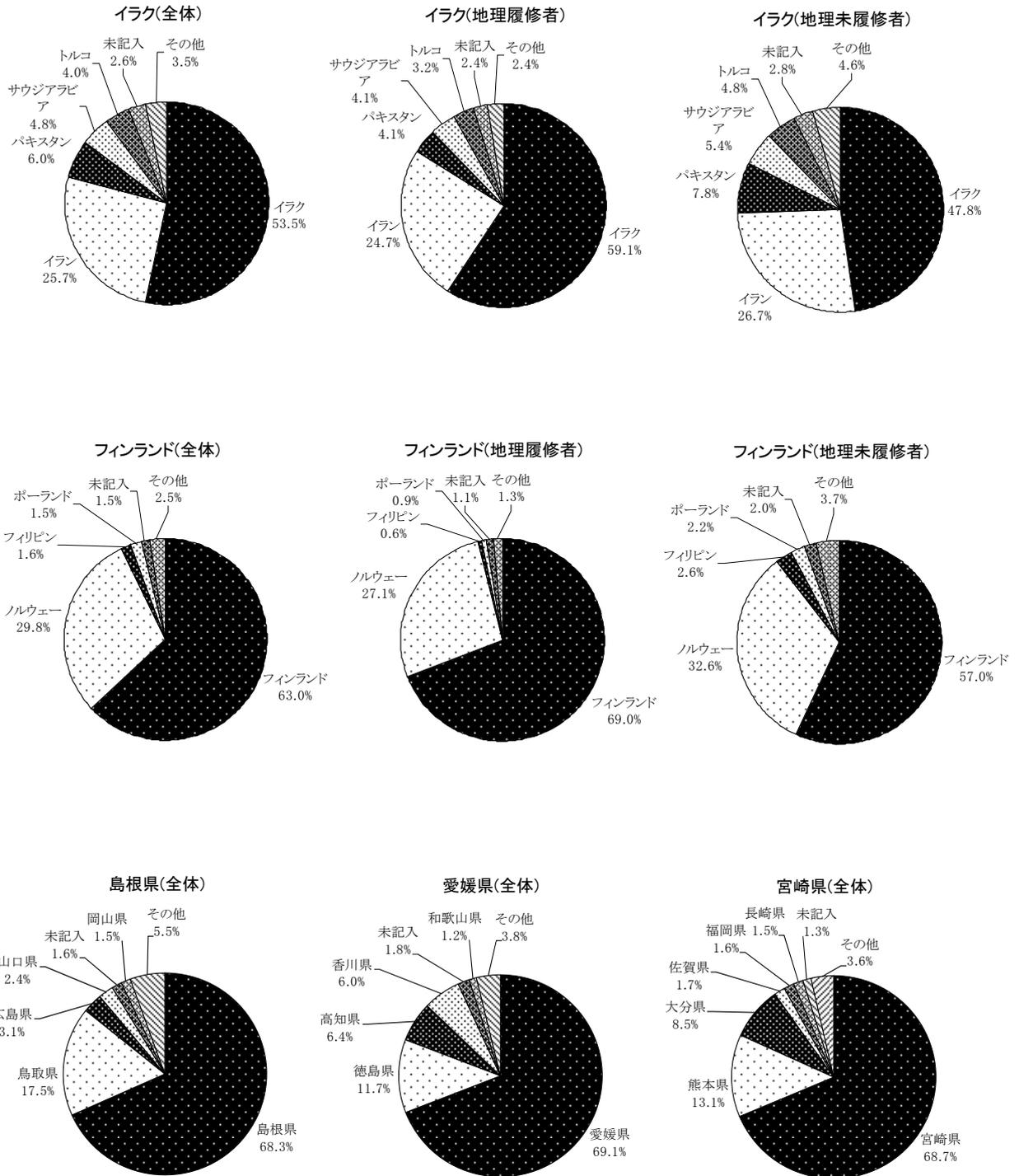
\* 5%水準で有意

		正答者数(人)			前回調査正答者数(参考)		
		全体 (n=3,747)	地理履修者 (n=1,843)	未履修者 (n=1,904)	全体 (n=3,773)	地理履修者 (n=1,907)	未履修者 (n=1,866)
国	c インド	3,622	1,804	1,818	3,651	1,821	1,830
	a アメリカ合衆国	3,583	1,779	1,804	3,657	1,814	1,843
	i ブラジル	3,459	1,754	1,705	3,502	1,777	1,725
	g 北朝鮮	3,325	1,670	1,655	3,407	1,690	1,717
	h フランス	3,183	1,634	1,549	3,313	1,690	1,623
	e スイス	2,539	1,390	1,149	-	-	-
	j ベトナム	2,510	1,340	1,170	2,776	1,483	1,293
	f ケニア	2,394	1,312	1,082	2,500	1,365	1,135
	d フィンランド	2,373	1,287	1,086	-	-	-
	b イラク	1,880	1,032	848	2,131	1,139	992
	都県	c 東京都	3,564	1,785	1,779	/	
d 長野県		3,410	1,724	1,686			
f 石川県		3,267	1,658	1,609			
a 秋田県		3,203	1,605	1,598			
e 愛知県		3,167	1,623	1,544			
b 栃木県		2,971	1,508	1,463			
g 奈良県		2,944	1,480	1,464			
i 愛媛県		2,566	1,319	1,247			
j 宮崎県		2,520	1,317	1,203			
h 島根県		2,470	1,259	1,211			

前回調査は2004年12月～2005年2月にかけて実施したもので、その際はスイス・フィンランドおよび都県は調査していない。

### (3) 大学生詳細集計

大学生調査のうち、5大学922人分（うち高校時の地理履修者462人、未履修者460人）については個票データをすべて入力して誤答の傾向を分析した。



設問	回答	実数(人)			割合(%)			
		全体	地理履修	未履修	全体	地理履修	未履修	
アメリカ合衆国	アメリカ合衆国	922	462	460	100.0	100.0	100.0	
	カナダ	17	7	10	1.8	1.5	2.2	
	未記入	4	0	4	0.4	0.0	0.9	
	その他	3	2	1	0.3	0.4	0.2	
イラク	イラク	493	273	220	53.5	59.1	47.8	
	イラン	237	114	123	25.7	24.7	26.7	
	パキスタン	55	19	36	6.0	4.1	7.8	
	サウジアラビア	44	19	25	4.8	4.1	5.4	
	トルコ	37	15	22	4.0	3.2	4.8	
	未記入	24	11	13	2.6	2.4	2.8	
	エジプト	5	2	3	0.5	0.4	0.7	
	ウズベキスタン	5	1	4	0.5	0.2	0.9	
	ケニア	4	2	2	0.4	0.4	0.4	
	インド	4	0	4	0.4	0.0	0.9	
	その他	14	6	8	1.5	1.3	1.7	
	インド	インド	901	457	444	97.7	98.9	96.5
未記入		9	2	7	1.0	0.4	1.5	
その他		12	3	9	1.3	0.6	2.0	
フィンランド	フィンランド	581	319	262	63.0	69.0	57.0	
	ノルウェー	275	125	150	29.8	27.1	32.6	
	フィリピン	15	3	12	1.6	0.6	2.6	
	ポーランド	14	4	10	1.5	0.9	2.2	
	未記入	14	5	9	1.5	1.1	2.0	
	イギリス	7	2	5	0.8	0.4	1.1	
	その他	16	4	12	1.7	0.9	2.6	
	スイス	スイス	657	363	294	71.3	78.6	63.9
		ポーランド	169	72	97	18.3	15.6	21.1
		フィンランド	29	8	21	3.1	1.7	4.6
フランス		20	4	16	2.2	0.9	3.5	
未記入		15	4	11	1.6	0.9	2.4	
スペイン		13	4	9	1.4	0.9	2.0	
ノルウェー		9	3	6	1.0	0.6	1.3	
カナダ		4	2	2	0.4	0.4	0.4	
その他		6	2	4	0.7	0.4	0.9	
ケニア		ケニア	611	323	288	66.3	69.9	62.6
	コンゴ民主共和国	230	106	124	24.9	22.9	27.0	
	未記入	28	12	16	3.0	2.6	3.5	
	エジプト	23	9	14	2.5	1.9	3.0	
	パキスタン	6	1	5	0.7	0.2	1.1	
	アルゼンチン	5	2	3	0.5	0.4	0.7	
	マダガスカル	4	1	3	0.4	0.2	0.7	
	ブラジル	3	1	2	0.3	0.2	0.4	
	その他	12	7	5	1.3	1.5	1.1	
	北朝鮮	北朝鮮	824	420	404	89.4	90.9	87.8
韓国		72	30	42	7.8	6.5	9.1	
中国		7	1	6	0.8	0.2	1.3	
ベトナム		7	4	3	0.8	0.9	0.7	
タイ		4	1	3	0.4	0.2	0.7	
未記入		4	2	2	0.4	0.4	0.4	
フランス	フランス	797	417	380	86.4	90.3	82.6	
	スペイン	69	26	43	7.5	5.6	9.3	
	ポーランド	36	14	22	3.9	3.0	4.8	
	未記入	7	1	6	0.8	0.2	1.3	
	スイス	6	2	4	0.7	0.4	0.9	
	その他	7	2	5	0.8	0.4	1.1	
ブラジル	ブラジル	867	447	420	94.0	96.8	91.3	
	アルゼンチン	31	11	20	3.4	2.4	4.3	
	未記入	8	1	7	0.9	0.2	1.5	
	メキシコ	5	2	3	0.5	0.4	0.7	
	コンゴ民主共和国	5	0	5	0.5	0.0	1.1	
	その他	6	1	5	0.7	0.2	1.1	
	ベトナム	ベトナム	638	346	292	69.2	74.9	63.5
タイ		186	89	97	20.2	19.3	21.1	
未記入		22	6	16	2.4	1.3	3.5	
フィリピン		20	3	17	2.2	0.6	3.7	
パキスタン		17	4	13	1.8	0.9	2.8	
ケニア		5	0	5	0.5	0.0	1.1	
コンゴ民主共和国		4	2	2	0.4	0.4	0.4	
イラク		4	2	2	0.4	0.4	0.4	
その他		26	10	16	2.8	2.2	3.5	

設問	回答	実数(人)			割合(%)			
		全体	地理履修	未履修	全体	地理履修	未履修	
秋田県	秋田県	922	462	460	100.0	100.0	100.0	
	岩手県	793	400	393	86.0	86.6	85.4	
	山形県	76	42	34	8.2	9.1	7.4	
	青森県	33	13	20	3.6	2.8	4.3	
	未記入	9	4	5	1.0	0.9	1.1	
	その他	5	1	4	0.5	0.2	0.9	
栃木県	栃木県	6	2	4	0.7	0.4	0.9	
	群馬県	752	391	361	81.6	84.6	78.5	
	茨城県	89	42	47	9.7	9.1	10.2	
	埼玉県	21	11	10	2.3	2.4	2.2	
	未記入	15	5	10	1.6	1.1	2.2	
	山梨県	13	2	11	1.4	0.4	2.4	
	福島県	10	4	6	1.1	0.9	1.3	
	その他	7	3	4	0.8	0.6	0.9	
	東京都	15	4	11	1.6	0.9	2.4	
	東京都	東京都	904	456	448	98.0	98.7	97.4
神奈川県		10	2	8	1.1	0.4	1.7	
埼玉県		4	2	2	0.4	0.4	0.4	
その他		3	2	1	0.3	0.4	0.2	
長野県	長野県	1	0	1	0.1	0.0	0.2	
	群馬県	873	444	429	94.7	96.1	93.3	
	岐阜県	9	3	6	1.0	0.6	1.3	
	新潟県	7	4	3	0.8	0.9	0.7	
愛知県	愛知県	6	3	3	0.7	0.6	0.7	
	未記入	6	0	6	0.7	0.0	1.3	
	その他	21	8	13	2.3	1.7	2.8	
	静岡県	798	414	384	86.6	89.6	83.5	
	三重県	26	10	16	2.8	2.2	3.5	
	未記入	21	8	13	2.3	1.7	2.8	
	岐阜県	17	2	15	1.8	0.4	3.3	
	奈良県	14	9	5	1.5	1.9	1.1	
	和歌山県	7	4	3	0.8	0.9	0.7	
	兵庫県	5	2	3	0.5	0.4	0.7	
石川県	石川県	5	2	3	0.5	0.4	0.7	
	滋賀県	5	2	3	0.5	0.4	0.7	
	山梨県	4	1	3	0.4	0.2	0.7	
	滋賀県	4	3	1	0.4	0.6	0.2	
	山梨県	4	1	3	0.4	0.2	0.7	
	その他	17	6	11	1.8	1.3	2.4	
	奈良県	石川県	823	428	395	89.3	92.6	85.9
		富山県	33	15	18	3.6	3.2	3.9
		福井県	28	9	19	3.0	1.9	4.1
		新潟県	7	2	5	0.8	0.4	1.1
未記入		6	0	6	0.7	0.0	1.3	
山形県		4	1	3	0.4	0.2	0.7	
その他		21	7	14	2.3	1.5	3.0	
島根県		奈良県	745	380	365	80.8	82.3	79.3
		京都府	77	40	37	8.4	8.7	8.0
		大阪府	23	11	12	2.5	2.4	2.6
	和歌山県	19	9	10	2.1	1.9	2.2	
	滋賀県	15	8	7	1.6	1.7	1.5	
	三重県	15	6	9	1.6	1.3	2.0	
	未記入	10	1	9	1.1	0.2	2.0	
	兵庫県	8	3	5	0.9	0.6	1.1	
	その他	10	4	6	1.1	0.9	1.3	
	愛媛県	島根県	630	328	302	68.3	71.0	65.7
鳥取県		161	85	76	17.5	18.4	16.5	
広島県		29	9	20	3.1	1.9	4.3	
山口県		22	5	17	2.4	1.1	3.7	
未記入		15	4	11	1.6	0.9	2.4	
岡山県		14	8	6	1.5	1.7	1.3	
高知県		7	4	3	0.8	0.9	0.7	
愛媛県		6	6	0	0.7	1.3	0.0	
兵庫県		6	3	3	0.7	0.6	0.7	
福井県		5	1	4	0.5	0.2	0.9	
宮崎県	香川県	4	1	3	0.4	0.2	0.7	
	三重県	4	0	4	0.4	0.0	0.9	
	その他	19	8	11	2.1	1.7	2.4	
	愛媛県	637	331	306	69.1	71.6	66.5	
	徳島県	108	48	60	11.7	10.4	13.0	
	高知県	59	30	29	6.4	6.5	6.3	
	香川県	55	25	30	6.0	5.4	6.5	
	未記入	17	3	14	1.8	0.6	3.0	
	和歌山県	11	4	7	1.2	0.9	1.5	
	愛知県	7	5	2	0.8	1.1	0.4	
宮崎県	三重県	4	2	2	0.4	0.4	0.4	
	その他	24	14	10	2.6	3.0	2.2	
	宮崎県	633	329	304	68.7	71.2	66.1	
	熊本県	121	57	64	13.1	12.3	13.9	
	大分県	78	36	42	8.5	7.8	9.1	
	佐賀県	16	7	9	1.7	1.5	2.0	
	福岡県	15	8	7	1.6	1.7	1.5	
	長崎県	14	6	8	1.5	1.3	1.7	
	未記入	12	2	10	1.3	0.4	2.2	
	鹿児島県	9	5	4	1.0	1.1	0.9	
宮崎県	宮城県	6	6	0	0.7	1.3	0.0	
	その他	18	6	12	2.0	1.3	2.6	

# 調查票

# 2007 年度 高校生地理認識調査

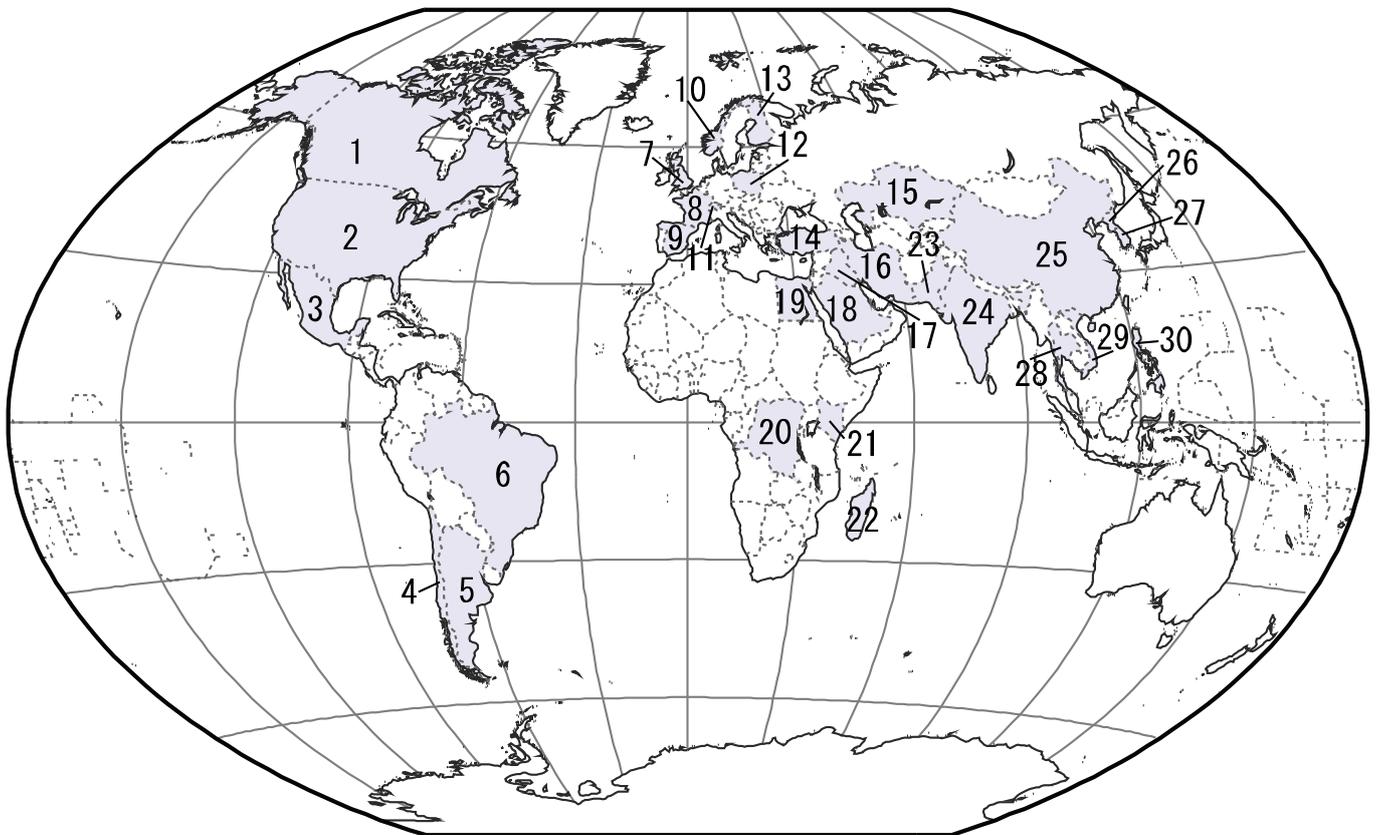
日本地理学会地理教育専門委員会

学校名： \_\_\_\_\_ ( \_\_\_\_\_ )年生

1. あなたは、高校で地理の授業を受けている、あるいは授業を受けていましたか。どちらかを○で囲んでください。

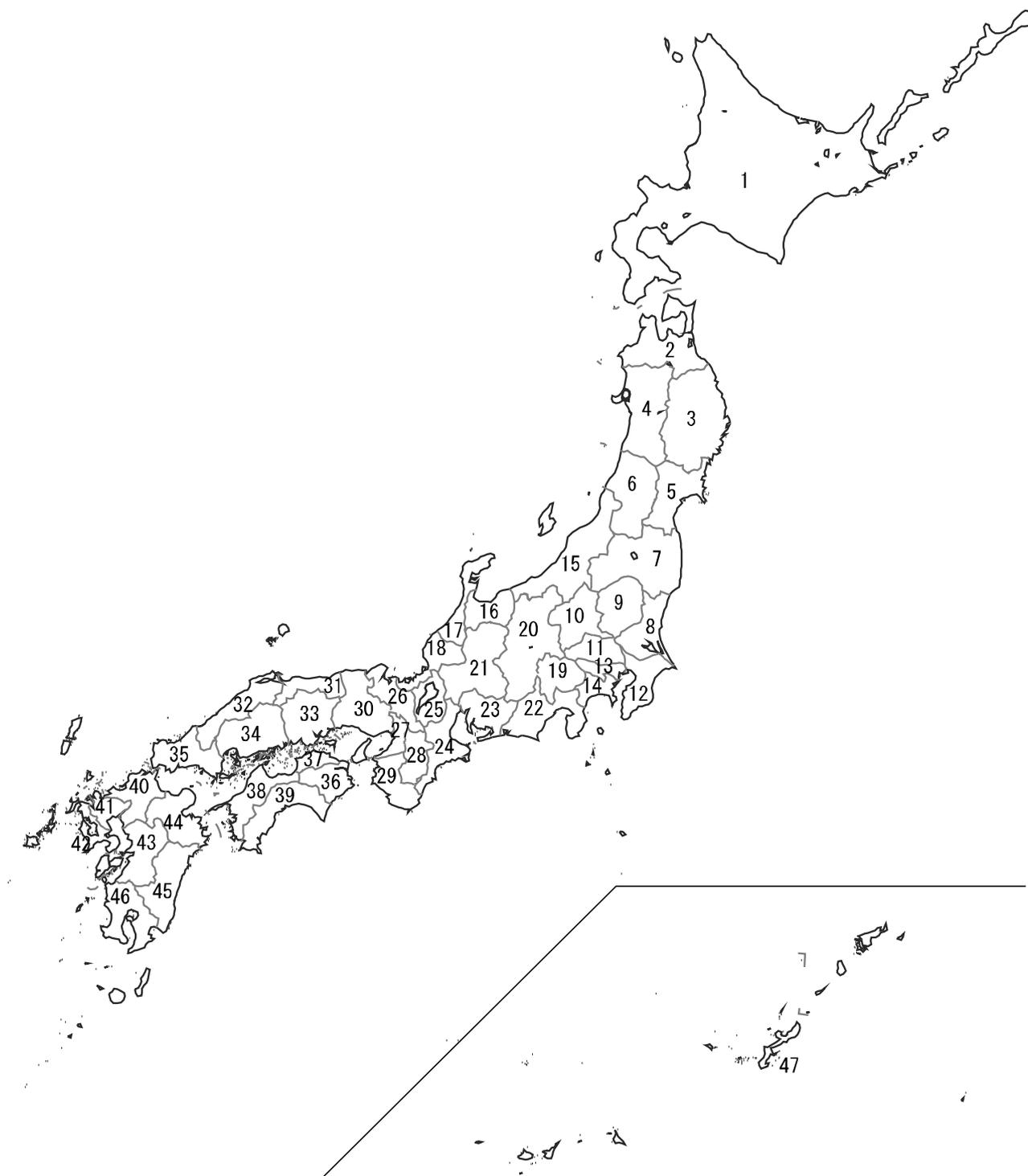
はい ・ いいえ

2. a ~ j の国の位置を地図中の1~30の中から選び、の中に記入してください。



a アメリカ合衆国	b.イラク	c.インド	d.フィンランド	e.スイス
f.ケニア	g.朝鮮民主主義人民共和国	h.フランス	i.ブラジル	j.ベトナム

3. 下記の都道府県の位置を下の白地図の中の1～47から選び、表の中に記入してください。



a 秋田県	b 栃木県	c 東京都	d 長野県	e 愛知県
f 石川県	g 奈良県	h 島根県	i 愛媛県	j 宮崎県

4. 下記の設問に答えてください。

① 下記の文章の空欄に入る国名を答えてください。

北方領土返還は日本国と( )との二国間の問題である。

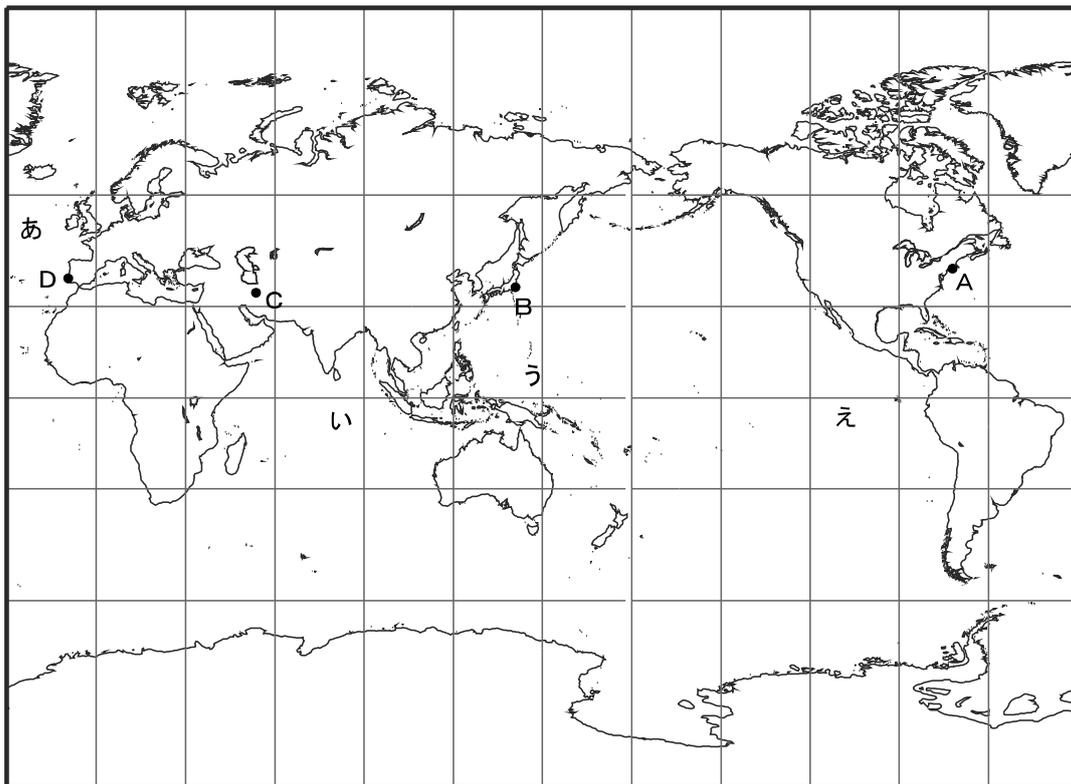
② 日本の食料自給率はカロリーベースで何%か、最も近い数字を下の語群から選んでください。

ア:20%    イ:40%    ウ:60%    エ:80%    オ:100%

③ 日本は原油をほぼ100%輸入に頼っていますが、主にどの地域から輸入しているか、下の語群から選んでください。

ア:オーストラリア    イ:アフリカ南部    ウ:北アメリカ    エ:西アジア    オ:中国

5. 下記の世界地図を読み取って下の問題に答えてください。



① 地図中のA～Dの都市で、1日の始まりが最も早い都市を選んで、記号で答えてください。  
( )

② エルニーニョ現象は地図中の「あ～え」のどのあたりで見られる現象か、記号で答えてください。  
( )

# 2007 年度 大学生地理認識調査

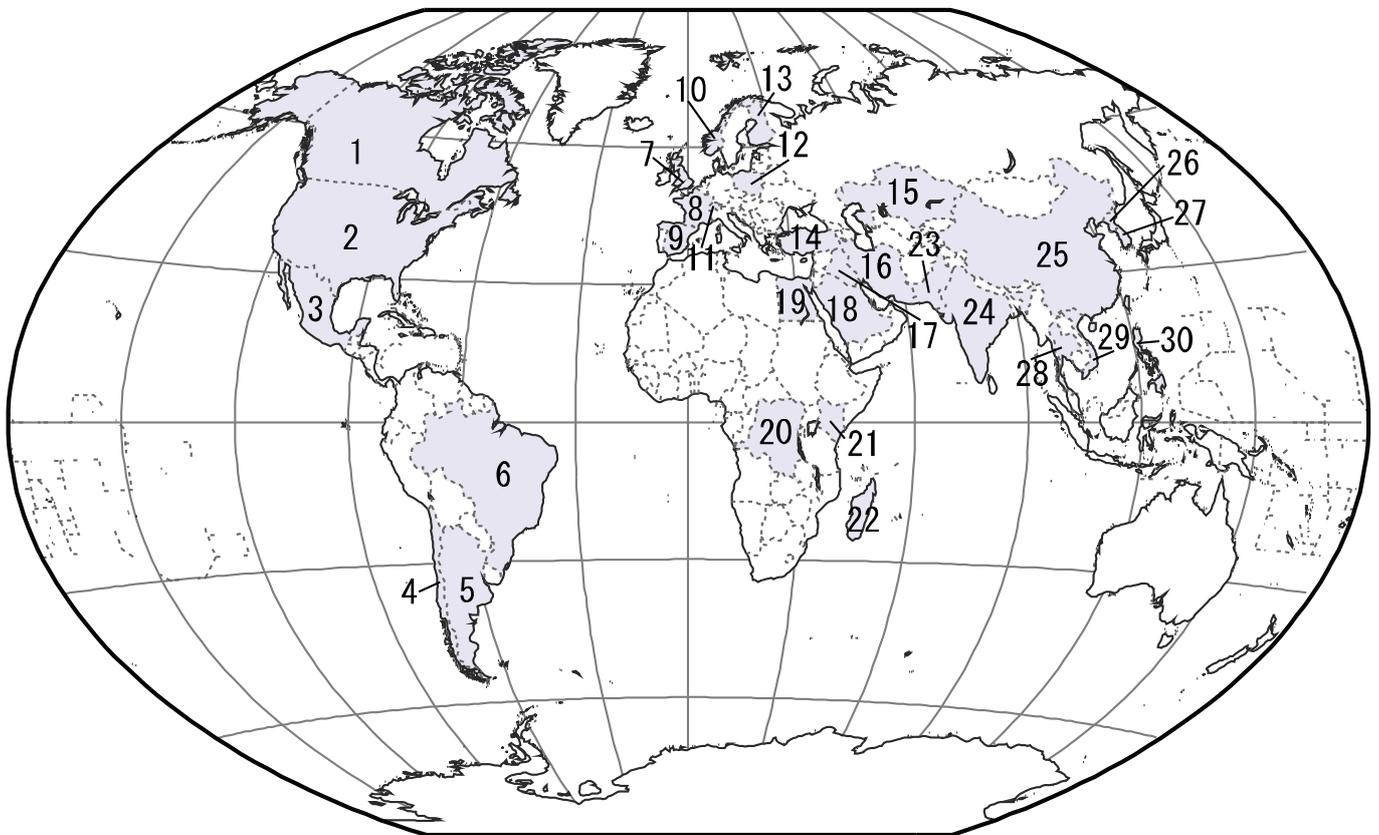
日本地理学会地理教育専門委員会

所属: \_\_\_\_\_ 大学 \_\_\_\_\_ 学科 氏名 \_\_\_\_\_

1. あなたは高校生のとき、授業で地理を学びましたか。どちらかを○で囲んでください。

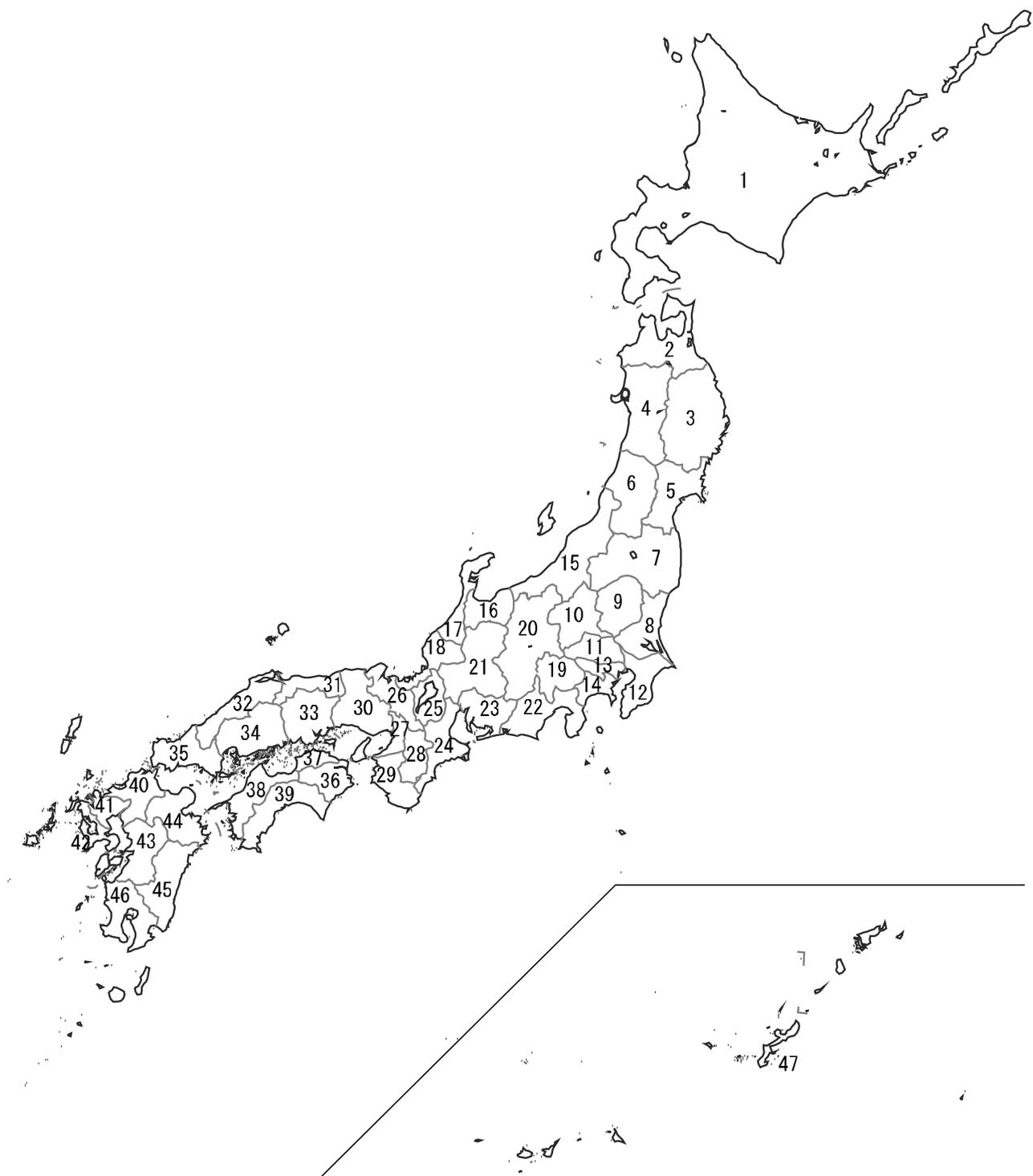
はい ・ いいえ

2. a ~ j の国の位置を地図中の1~30の中から選び、の中に記入してください。



a アメリカ合衆国	b.イラク	c.インド	d.フィンランド	e.スイス
f.ケニア	g.朝鮮民主主義人民共和国	h.フランス	i.ブラジル	j.ベトナム

3. 下記の都道府県の位置を下の白地図の中の1～47から選び、表の中に記入してください。



a 秋田県	b 栃木県	c 東京都	d 長野県	e 愛知県
f 石川県	g 奈良県	h 島根県	i 愛媛県	j 宮崎県